



特定非営利活動法人新潟NPO協会

2004年（平成16年）度

事業計画

2004年（平成16年）度事業実施の方針

2003年度を、拠点づくりと基本的事業を軌道に乗せる「基盤形成の年」として捉えると、2004年度はそれを引き継ぎ、さらにブラッシュアップさせる「質的充足の年」と位置づけることができる。各々の事業の評価と改善を徹底し、直接の顧客である県内NPOから「新潟NPO協会の事業なら参加したい、関わりたい」と思ってもらえるようなブランドづくりを意識しつつ、事業を進めていく。当会がとりあえずの目安としていた「人口一人当たり一NPO法人」の実現が、予想をかなり上回るペースで達成されたことに象徴されるように、県内のNPOの数は急速に増加している。常に生まれ続ける新しいニーズをいかに事業運営に採り入れていくかが大きな課題となる。

一方、新潟県NPOサポートセンターの管理運営委託は平成17年度を以て終了する予定である。よって、「その先」を見越した事業の組立が必要不可欠である。その後も継続すべき事業は何か？ 過渡的なものとして、成果を明らかにする、あるいは、他に引き継ぐべき事業は何か？ 継続のための資金はどう確保するのか？ 等々を意識しつつ、今後2ヶ年度をかけて、「その後の体制」へとスムーズに移行できるよう、各事業の方向付けを行わなければならない。そのため今年度は、特に以下の点を重視して事業を実施する。

- 前年度に引き続き、ソフト事業を主体とし、専門性の高い中間支援事業の充実を図る。
- 県内各地で既に活動する、あるいは地域／分野毎に生まれつつある中間支援組織との連携を強化し、役割分担を明確にする。
- 企業・一般市民へのアプローチの強化
- 2年後へとつながる新規サービスの開発を含めた「自立のための戦略」を打ち出す。

その一環として、今年度は以下の事業に取り組む。

- ・勤労者マルチライフ支援事業（勤労者の地域市民活動参画促進）
- ・新潟コミュニティバンク（NPO・コミュニティビジネス向けの低利融資）
- ・NPOショップ（NPOが開発・販売する商品の委託販売）
- ・NPOサポートメール（郵便物の割引サービスと収益の一部の基金化）
- ・インターンシップ（大学・行政・起業との人材交流）
- ・コンサルティング／講師派遣事業の充実

組織の運営面では、理事の役割を明確にし、活動へのさらなる参画を促す。さらに、企業との協力関係を促進するため、当方より積極的に接触していく。また、これに併せて会員の拡大を重点的に進める。当会会員であることのメリットを明確にし、事業の進行とリンクさせる形で会員拡大のための戦略を打ち出していく。今年度は会員数100を目標とし、特にNPO正会員の拡大を図る。

03年度に姉妹団体関係を構築したペンシルベニアNPO協会とは、日本からアメリカへのスタディ・ツアーを合同で行う方向で連携の第一歩を踏み出したい。

2. 事業実施に関する事項

(1) 調査研究事業

①「日本文化空間学構築」研究チームへの参加（日本学術振興会より委嘱）

事業内容：日本古来の文化やコミュニティの機能を空間的（重層的）に捉え、現代のまちづくりに活かす研究プロジェクトに人材を派遣する。全国の研究者、市民活動家により構成。国内各地での定期的な研究会と大会、および成果報告書の執筆に参加する。

実施期間：通年（プロジェクト実施期間：2003年4月～2006年3月）

実施場所：国内4箇所程度

担当者：金子洋二

支出額：0円（旅費実費支給）

(2) 情報支援事業

①NPO図書館の運営（サポートセンター事業）

事業内容：NPOに関する書籍・資料の閲覧・貸し出しサービス

実施期間：通年（2003年8月開設）

実施場所：新潟県NPOサポートセンター

担当者：目黒雄介

支出額：サポートセンター事業費に含む

②「にいがたNPO情報ネット」（ウェブサイト）および「にいがた公益市場」（ウェブサイト）の管理運営（サポートセンター事業）

事業内容：ウェブサイトによる情報提供とデータベース管理・運用、メーリングリスト運営、メールマガジンの発行など

実施期間：通年（2003年7月業務開始）

担当者：富澤佳恵

支出額：サポートセンター事業費に含む

③情報誌「ふくみみ」の発行（サポートセンター事業）

事業内容：新潟県NPOサポートセンターの情報誌を隔月で発行

実施期間：毎奇数月の月末発行（2003年9月創刊）

発行部数：各回1500部

担当者：富澤佳恵

支出額：サポートセンター事業費に含む

④書籍販売

事業内容：2002年に開催した「連続フォーラム・NPOがつくる新時代」報告集の販売

販売数：50冊（1冊1,000円）

⑤広報支援

事業内容：NPOのリーフレット・チラシ・ホームページなどの情報ツール作成を支援する。

実施期間：通年

担当者：富澤佳恵

支出額：100,000円

⑥NPO サポートメール

事業内容：NPO が差し出す郵便物を割引価格で取り扱い、差額の一部を公益目的の基金として積み立てる。(特) グランとの共同事業。

実施期間：通年

実施場所：新潟県 NPO サポートセンター

担当者：金子洋二

支出額：360,000 円

(3) コーディネーション事業

①守門の里感謝祭企画運営事業 ((社福) 栃尾福祉会)

事業内容：知的障害者更生施設「守門の里」が、地域とのつながりを深める目的で開催する「感謝祭」を企画・運営する。

実施期間：2004 年 10 月 24 日

実施場所：栃尾市

参加者：施設利用者とその家族・一般市民など約 200 人

担当者：富沢佳恵

支出額：120,000 円

②企業・団体・自治体によるNPO関連プログラムへの協力

事業内容：企業や公益法人、自治体などが行うNPO関連のプログラムに対し、人材の派遣や企画・運営の支援を行う。

実施期間：通年

実施場所：主に新潟県内

担当者：金子洋二・村山康成・八木栄子

支出額：200,000 円

(4) 人の支援事業

①講師派遣

事業内容：NPOに関する講演やコンサルティングの依頼、各種委員会審議会等に対して人材を派遣する。

実施期間：通年

実施場所：主に新潟県内

担当者：八木栄子

支出額：交通費のみ。一般会計の旅費交通費に含める。

②NPO基礎講座 (協会・サポートセンター共催事業)

事業内容：NPOに対する理解の促進を目的とした講座の開催

実施期間：2004 年 7 月 21 日

実施場所：新潟県消費者生活センター研修室

参加者：一般市民 40 人

担当者：浅野裕子、野澤葉子

支出額：サポートセンター事業費に含む

③NPO講座・懇談会 (協会・サポートセンター共催事業)

事業内容：NPOに対する理解の促進を目的とした事例発表と参加者による交流会

実施期間：2004 年 9～12 月にかけて 3 回開催する。

実施場所：新潟市

参加者：NPO・企業・行政・大学等の関係者 100 人

担当者：金子洋二、野澤葉子

支出額：サポートセンター事業費に含む

④NPO起業セミナー（協会・サポートセンター共催事業）

事業内容：NPO法人の設立に関する講座とワークショップの開催

実施期間：3月20日、21日

実施場所：新潟市（新潟ユニゾンプラザ）

参加者：NPO法人の設立に関心のある団体、市民40人

担当者：村山康成、野沢葉子

支出額：サポートセンター事業費を含む

⑤NPOマネジメントセミナー（協会・サポートセンター共催事業）

事業内容：NPOの労務、広報、税務・会計に関する講座の開催

実施期間：9月16日、11月18日、2月18日

実施場所：新潟ユニゾンプラザ

参加者：NPO経営者およびスタッフ120人

担当者：金子洋二、野沢葉子

支出額：サポートセンター事業費を含む

⑥米国NPOスタディツアー

事業内容：ペンシルベニアNPO協会と協力し、米国のNPO先進事例を視察する

実施期間：05年5～6月の10日間程度

実施場所：米国東海岸

参加者：NPO関係者10人

担当者：江口昌樹

支出額：20万円

(5) 場の提供事業

①NPOショップ

事業内容：NPOへの資金的な援助および商品を通じての広報を兼ねて、新潟県内のNPOが扱う商品やNPO関連の書籍等の販売を、新潟県NPOサポートセンターの一角を借りて行う。

実施期間：通年

実施場所：新潟県NPOサポートセンター

担当者：富澤佳恵

支出額：150,000円

②中間支援組織連携事業（サポートセンター事業）

事業内容：県内の中間支援組織または中間支援組織の立ち上げを検討している団体より、地域のニーズに即した事業を企画運営してもらい、その事業に対する資金的・人的な支援を行う。

実施期間：2004年8月～2005年6月

実施場所：県内3ヶ所程度を予定

担当者：金子洋二

支出額：サポートセンター事業費を含む

③新潟コミュニティバンク設立準備

事業内容：市民からの寄付・出資金を募り、NPOやコミュニティビジネス向けの小口融資を行う市民金融機関設立に向けた準備を行う。

実施期間：通年

実施場所：新潟市

担当者：金子洋二

支出額：150,000円

(6) 協働促進事業

①新潟県NPOサポートセンター管理運営事業（新潟県県民生活課）

事業内容：新潟県NPOサポートセンターの管理運営委託
実施期間：通年
実施場所：新潟ユニゾンプラザ
担当者：金子洋二、富澤佳恵、野澤葉子、目黒雄介
支出額：14,300,000円

②勤労者マルチライフ支援事業（(財)さわやか福祉財団 勤労者マルチライフ支援センター）

事業内容：勤労者自身の生きがいや達成感など、人生の質的充足を促進することを目的として、ボランティアに参加しやすい仕組みづくりやボランティア受け入れ団体の支援を行う。当事業の周知及び広報活動、受け入れ団体のデータベース化、「ボランティア人材バンク」の構築及び運営、ボランティアの受け入れ促進を目的としたセミナー等を開催する。
実施期間：通年 2004年4月～2007年3月
実施場所：新潟県内全域
担当者：金子洋二、阿部巧（勤労者マルチライフ専任）、八木栄子、窪田明則
支出額：5,000,000円

③(財)新潟県勤労者福祉厚生財団NPO助成事業への協力

事業内容：新潟県労働金庫が創立30周年を記念して設置した同財団が、設立20周年を機に昨年度から始めた同事業への協力。事業の立ち上げから選考プロセスまで人員を派遣し、2ヶ年度で計38団体1880万円の助成に携わった。
担当者：江口昌樹、村山康成、金子洋二
支出額：一般管理費に含む

④インターンシップ（サポートセンター事業）

事業内容：企業・大学・行政とNPO間のインターンシップ・プログラムの開発と一部実施。今年度は試験的に新潟大学法学部生を受け入れる。
実施期間：04年8～9月
実施場所：新潟県NPOサポートセンター
担当者：目黒雄介
支出額：サポートセンター事業費に含む

(7) 政策提言

①県・市町村のNPO関連施策への提言

昨年度に引き続き、以下の提言活動を継続する。
・特定非営利活動法人からの事業報告書等閲覧方法に関する提言（新潟県）
・新潟市市民活動支援センター（仮）の04年12月開設に向け、運営組織・運営方法に関する提言（新潟市）
また、この他にも必要な提言を随時行っていく。
担当者：村山康成、金子洋二
支出額：一般管理費に含む

(8) 交流事業

① 全県フォーラム「NPOにいがたらりー2005」(協会・サポートセンター共催事業)

事業内容：県内の全ての分野・セクター間の交流を目的としたフォーラムの開催。

実施期間：2005年2月～3月

実施場所：新潟市ほか

担当者：金子洋二、野澤葉子

参加者：NPOに関心のある団体、個人 300人

支出額：サポートセンター事業費を含む

② 県外との交流

■ 市民セクター全国会議(04年9月11～12日・東京)への参加

■ 日本学術振興会人文社会学振興プロジェクト「日本文化空間学構築チーム」への参加(金子洋二);日本古来の文化を空間的に捉え、現代社会に活かすことを目的として、研究者・市民活動実践者等が一体となって取り組む研究事業。H17年度まで継続。

■ 全国ボランティアフェスティバル(04年9月)への参加

■ 厚生労働省勤労者マルチライフ支援事業全国プロジェクトマネージャー会議出席(04年12月);全国12道県のNPO支援組織、経営者協会、社会福祉協議会ら同事業担当者が参加。

支出額:各事業経費および一般管理費中の交通費を含む

(9) 相談・サロン事業

① NPOサロン「ふくみみの日」(協会・サポートセンター共催事業)

事業内容：NPO同士の気軽な交流・情報交換の場として開催。ミニ講演会またはプレゼンテーションとフリートークなどを実施。

実施期間：2004年8月～3月にかけて6回開催する。

実施場所：新潟ユニゾンプラザ1階カフェ・アテンポを予定

参加者：NPO関係者ほか150人

担当者：金子洋二、野澤葉子

支出額：サポートセンター事業費を含む

② 相談事業(サポートセンター事業)

事業内容：NPOの設立と運営、各種依頼(情報提供・照会など)に対する来所・電話相談

実施期間：通年

実施場所：新潟県NPOサポートセンター

件数：3000件

担当者：サポートセンタースタッフ全員

支出額：サポートセンター事業費を含む

特定非営利活動法人新潟NPO協会 2004年度一般会計 収支予算案

特定非営利活動法人新潟NPO協会

2004年7月1日～2005年6月30日

勘定項目	2003年度予算	2003年度決算	2004年度予算	増△減	備 考
<収入の部>					
1. 会費収入	600,000	367,000	790,000	190,000	個人正会員:50人、NPO正会員:30団体、団体正会員:5団体、個人賛助会員:5人、NPO賛助会員:5団体、団体賛助会員:5団体
2. 寄付金収入	1,000,000	343,043	500,000	-500,000	
3. 事業収入					
(1) 調査研究事業	0	778,500	0	0	日本文化空間学構築チームへの参加(旅費実費精算)
(2) 情報支援事業	100,000	125,000	600,000	500,000	NPOがつくる新時代報告集売上 ¥50,000 リーフレット作成 ¥150,000 NPOサポートメール売上 ¥400,000
(3) コーディネーション事業	400,000	19,665,000	720,000	320,000	守門の里感謝祭 ¥320,000 その他 ¥400,000
(4) 人の支援事業	1,000,000	475,786	920,000	-80,000	講師派遣収入¥500,000、各種講座参加費¥420,000
(5) 場の提供事業	0		630,000	630,000	NPOショップ売上 ¥600,000
(6) 協働促進事業	17,132,000	16,779,000	20,721,000	3,589,000	コミュニティバンク勉強会参加費 ¥30,000 H16年7月～H17年6月分新潟県NPOサポートセンター管理運営委託費(新潟県県民生活課)¥15,721,000 H16年7月～H17年6月分勤労者マルチライフ支援事業委託費(さわかみ福祉財団)¥5,000,000
(7) 政策提言事業	0	0	0	0	
(8) 交流事業	2,500,000	0	150,000	-2,350,000	NPOラリー参加費
(9) 相談・サロン事業	0	0	150,000	150,000	サロン参加費
(10) その他事業	0	0	0	0	
4. 助成金収入	500,000	0	500,000	0	
5. 雑収入	50,000	70,428	50,000	0	
当期収入合計	23,282,000	38,603,757	25,731,000	2,449,000	
<支出の部>					
1. 事業費					
(1) 調査研究事業	300,000	284,240	0	-300,000	日本文化空間学構築チームへの参加(旅費実費精算)
(2) 情報支援事業	200,000	38,050	460,000	260,000	広報支援 ¥100,000 NPOサポートメール ¥360,000
(3) コーディネーション事業	100,000	19,090,551	320,000	220,000	守門の里感謝祭 ¥120,000、他 ¥200,000
(4) 人の支援事業	400,000	4,800	200,000	-200,000	スタディツアー経費 ¥200,000
(5) 場の提供事業	100,000	200,000	300,000	200,000	NPOショップ ¥150,000、コミュニティバンク ¥150,000
(6) 協働促進事業	16,500,000	15,458,972	19,300,000	2,800,000	H16年7月～H17年6月分新潟県NPOサポートセンター管理運営委託費(新潟県県民生活課)¥14,300,000 H16年7月～H17年6月分勤労者マルチライフ支援事業委託費(さわかみ福祉財団)¥5,000,000
(7) 政策提言事業	100,000	0	0	-100,000	
(8) 交流事業	2,000,000	0	0	-2,000,000	サポートセンター事業費に含む
(9) 相談・サロン事業	600,000	0	0	-600,000	サポートセンター事業費に含む
(10) その他事業	0	0	500,000	500,000	新規戦略事業開発費
事業費計	20,300,000	35,076,613	21,080,000	780,000	
2. 一般管理費					
給料手当	2,000,000	875,000	3,500,000		
賞与手当		150,000			
雇用保険		-7,500			
通勤手当		77,000			
福利厚生費		7,980			
通信費		115,000			
広告宣伝費		5,000			
消耗品費		106,256			
旅費交通費		14,000			
租税公課		36,200			
家賃		410,000			
図書教育費		75,184			
会議費		60,000			
仕器・備品		600,455			
雑費		235,000			
管理費計	2,000,000	2,759,575	3,500,000	1,500,000	
予備費	1,000,000	0	500,000	-500,000	
当期支出处分合計	23,300,000	37,836,188	25,080,000	1,780,000	
当期収支差額	-18,000	767,569	651,000		
前期繰越収支差額	557,885	539,885	1,307,454		
次期繰越収支差額	539,885	1,307,454	1,958,454		